

(別添1)

看護教員等養成支援事業(通信制教育)学習サポートシステム概要書

目次

① システム概要 ----- P1

1) e ラーニングコンテンツ受講の推奨環境とシステム動作環境

2) システムのセキュリティ要件

② コンテンツの機能概要 ----- P2～P8

1)コンテンツの画面構成

① システム概要

看護教員等養成支援事業(通信制教育)において制作されたコンテンツは Web ブラウザを通して受講できる e ラーニングサービスとして以下の推奨環境であれば受講できるよう構築されている。配信時にはセキュリティや安定性等も含め、同様の環境を構築すること。

1) e ラーニングコンテンツ受講の推奨環境とシステム動作環境

・受講推奨環境

OS	Windows8.1、Windows10、macOS10.13以上
ブラウザ	Internet Explorer11 (デスクトップ版)、 Microsoft Edge、Google Chrome、Safari
ソフトウェア (プラグイン)	Adobe Acrobat Reader
メモリ	1GB以上 (32bit OS)、2GB以上 (64bit OS)
解像度	1024 × 768pixel 以上
通信速度	下り 10Mbps以上

- ・単位認定に活用されるシステムであるため、同時アクセスに制限は設けない。
- ・メンテナンスを除き、システムの月間稼働率は 99.95%を保証する。
- ・動画はストリーミング形式の配信とする。
- ・個人及び講座ごとの受講管理ができるように設定する。
- ・コンテンツデータのバックアップを 1日に 1回以上、自動的に取得する。

2) システムのセキュリティ要件

稼働するシステムについては、以下のセキュリティ要件を満たすよう構築すること。

- ・学習者ならびに管理者の ID・パスワードによる認証
- ・利用者権限の制御
- ・不正アクセスへの監視と記録
- ・TLS1.2 の利用による暗号化通信に対応した、通信レベルでの情報漏洩防止
- ・各サーバ及び管理端末へのアンチウィルスソフトの導入
- ・サーバは国内のデータセンターに設置し、入室者の許可制と入退出を管理
- ・システムの死活監視システムの導入

② コンテンツの機能概要

看護教員等養成支援事業(通信制教育)におけるe ラーニングコンテンツの仕様を以下に記載する。

1) コンテンツの画面構成

● e ラーニングコンテンツ画面上部のボタンの仕様



【メニュー ボタンの機能】

名 称	機 能
マイルーム	学習ポータル画面に遷移するボタンです。
科目情報	科目の概要や標準学習時間、著作権など、科目に関する情報をまとめたページへ遷移するボタンです。
目次	科目の目次ページへ遷移するボタンです。こちらから学習したいコンテンツを選ぶことができます。
学習成績	動画初回視聴日・確認テスト・単位認定テストの点数とその解答日が表示されるページへ遷移するボタンです。
サロン	同じ科目の受講者と意見交換を行う「掲示板」へ遷移するボタンです。
ガイダンス	受講に関する操作やコンテンツの構成、手続きなどを説明するページへ遷移するボタンです。
FAQ	さらに学びたい方向けに参考情報を記載したページに遷移するボタンです。

● 科目情報

The screenshot shows the 'Subject Information' page of the e-Learning system. At the top, there is a navigation bar with buttons for マイルーム, 科目情報, 目次, 学習成績, サロン, ガイダンス, and FAQ. Below the navigation bar, there is a section titled 'コース概要' (Course Overview) which includes the average study time (300 hours) and a detailed description of the course's purpose and target audience. The '学習目標' (Learning Objectives) section lists specific learning outcomes such as understanding performance evaluation methods and being able to apply them. The '備考' (Notes) section contains information about the author and copyright.

科目情報にて e ラーニングコースに関する基本的な情報
を記載

●目次

厚生労働省 マイホーム 科目情報 日次 学習成績 サロン ガイダンス FAQ

看護教育評価論

コース概要 平均所要時間： 30時間

- 「教育評価とは何か？」という問いを切り口に、現代的な評価論に位置するパフォーマンス評価が登場。普及するに至った理論と実践を理解する。また、パフォーマンス評価の基本的な考え方と進め方、それを活かしたカリキュラム設計の在り方を学ぶ。
- 実践・講義・演習の具体的評価の事例を通して、なぜ看護基礎教育にパフォーマンス評価が必要なのかを学び、パフォーマンス評価を活かしたカリキュラム設計の必要性を知る。

学習目標

- 教育評価とは何かを学ぶとともに、学力評価の現象と機能を知る。
- 研究における目標と様々な評価方法との関係を知る。
- 研究における評価計画の立て方の基本を理解。
- 科目別（基礎実験、講義、演習）別の目標設定と評価計画の立て方を知る。
- 評価活動した結果の改善の在り方についてイメージをつかむ。
- ポートフォリオ評価の在り方を知る。
- カリキュラムの評価と改善の在り方についてイメージをつかむ。
- パフォーマンス評価を実践するまでの実際の力量形成の在り方を知る。

担当 西岡 加名彦、永賀 梢子

権利表示 コンテンツに記載された著作権は、当該著作を行った著作者に帰属します。コンテンツの所有権は、厚生労働省に帰属します。

目次ボタンをクリック後、ポップアップで目次が表示

目次 - 看護教育評価論 - Google Chrome

nlp.netlearning.co.jp/ns/course/Popup.aspx?cid=57013B11&pid=contents#cu

- [イントロダクション](#)
- [プレテスト](#)
- 教育評価の目的
- 1. 教育評価とは何か
 - [1-1 本科目の概要](#)
 - [1-1\) 確認テスト](#)
 - [1-2\) 教育評価とは何か —「測定」論から「評価」論へ—](#)
 - [1-2\) 確認テスト](#)
 - [1-3\) 教育における評価活動 —評価の目的・対象・主体—](#)
 - [1-3\) 確認テスト](#)

各科目の学習したいコンテンツを選択して学習することも可能

※ただし、プレテストに解答しないと学習したいコンテンツへのリンクは有効とならないよう制御

●学習成績(確認テスト・単位認定テストの学習結果) ※画面はイメージ。LMSごとに異なる

厚生労働省 マイホーム 科目情報 日次 学習成績 サロン ガイダンス FAQ

看護教育評価論

SAMP202003050044 さんの学習成績

テスト		
タイトル	解説日	正解数
プレテスト		
1-1) 本科目の概要		
1-1) 確認テスト		
1-2) 教育評価とは何か —「測定」論から「評価」論へ—		
1-2) 確認テスト		
1-3) 教育における評価活動 —評価の目的・対象・主体—		
1-3) 確認テスト		
2-1) 学力評価・開める効果の実度 —絶対評価、相対評価、個人内評価、「目標に達成した評価」—		
2-2) 確認テスト		

学習成績ボタンをクリック後、各コンテンツ毎に設置されているプレテスト、動画初回視聴日と確認テストと単位認定テストの解答日・正解数が一覧で確認ができる
タイトルをクリックすると該当ページへ遷移

●サロン(掲示板機能) ※画面はイメージ。LMSごとに異なるため下図は参考

厚生労働省 マイホーム 科目情報 日次 学習成績 サロン ガイダンス FAQ

看護教育評価論

コース概要 平均所要時間： 30時間

- 「教育評価とは何か？」という問いを切り口に、現代的な評価論に位置するパフォーマンス評価が登場。普及するに至った理論と実践を理解する。また、パフォーマンス評価の基本的な考え方と進め方、それを活かしたカリキュラム設計の在り方を学ぶ。
- 実践・講義・演習の具体的評価の事例を通して、なぜ看護基礎教育にパフォーマンス評価が必要なのかを学び、パフォーマンス評価を活かしたカリキュラム設計の必要性を知る。

学習目標

- 教育評価とは何かを学ぶとともに、学力評価の現象と機能を知る。
- 研究における目標と様々な評価方法との関係を知る。
- 研究における評価計画の立て方の基本を理解。
- 科目別（基礎実験、講義、演習）別の目標設定と評価計画の立て方を知る。
- 評価活動の在り方についてイメージをつかむ。
- ポートフォリオ評価の在り方についてイメージをつかむ。
- カリキュラムの評価と改善の在り方についてイメージをつかむ。
- パフォーマンス評価を実践するまでの実際の力量形成の在り方を知る。

担当 西岡 加名彦、永賀 梢子

権利表示 コンテンツに記載された著作権は、当該著作を行った著作者に帰属します。コンテンツの所有権は、厚生労働省に帰属します。

サロンボタンをクリックし、掲示板へリンクする

【新】看護教育評価論

発言一覧 / 新規発言 / 検索 / 戻る / 閉じる

書込みがありません。
新規発言をクリックして、メッセージを書き込んでください。

コース学習者のコミュニケーションの場としてご活用ください。
(発言内容は、本コースの学習者全員に公開されます。)

- ・発言の削除は、ラーニングセンターまでメールで連絡ください。ラーニングセンターへメールを送る
・タイトル部分をクリックすると発言全文の内容が開かれられます。
■【■】マークをクリックすると発言全文が非表示になります。
・序論長辯に適さないものや他者に対する攻撃的中傷する争点、または両面目的の宣伝など、その他本掲示板の道徳的な利用を妨げる発言は、発言者に事前に示す連絡手段で管理人が削除する場合があります。

[発言一覧](#) / [新規発言](#) / [検索](#) / [戻る](#) / [閉じる](#)

●ガイダンス

コース概要	平均所要時間： 30時間
<ul style="list-style-type: none"> 「教育評価とは何？」という問いを切り口に、現代的な評価を通じて評価のバーフォーマンス評価が指導・評価するべきであると改めて認識します。また、バーフォーマンス評価要素は考え方と進め方、それをいかして実現するかの手順を学びます。 評価・目標・課題の具体的な実践方法を通して、社会問題関連者等にバーフォーマンス評価が必要なのかを学び、バーフォーマンス評価を実施したいたいキャラクタの必要性を知ります。 	
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識としての評価論と評価実践法を学ぶとともに、学習評価の標準と機能を知る。 評価の実践法は、評価の実践法としての機能を理解する。 自己評価(自己実査)、調査、測定、評価の機能設定と評価機能の立て方を知る。 評価活動としての指標の改め方についてイメージをつけ込む。 バーフォーマンス評価の実用化をできる。 カリキュラムの評価と改め方のためについてイメージをつかむ。 バーフォーマンス評価を実施する上での必修的知識構成のり方を知る。
参考書	西田文也監修、点検電子
権利表示	コンテンツに記載の著作権は、当該著作を行った著作者に帰属します。 コンテンツの所有権は、厚生労働省に帰属します。

掲示板は科目ごとに設け、同じ科目を学習する受講生同士が意見交換ができるようにする

ガイダンスボタンをクリックすると e ラーニングコンテンツの利用方法を説明するページがポップアップで表示される

The screenshot shows the 'Help' section of the NLP Net Learning website. The title bar reads 'ヘルプ - 看護教育評価論 - Internet Explorer'. Below the title, there's a navigation menu with links like 'メニュー説明', '画面操作', 'コース構成', '推奨環境', '受講登録', and 'お問い合わせ'. The main content area contains a large green box with the heading '■メニュー説明' and a detailed explanation of the course structure and various sections available.

記載内容は運用する LMS ごとに仕様が異なるため、改編する必要がある

FAQ

FAQ ボタンをクリックするとより学びたい方にむけて参考となる情報が表示される

●動画コンテンツイメージ

1. 教育評価とは何か
1-1) 本科目の概要

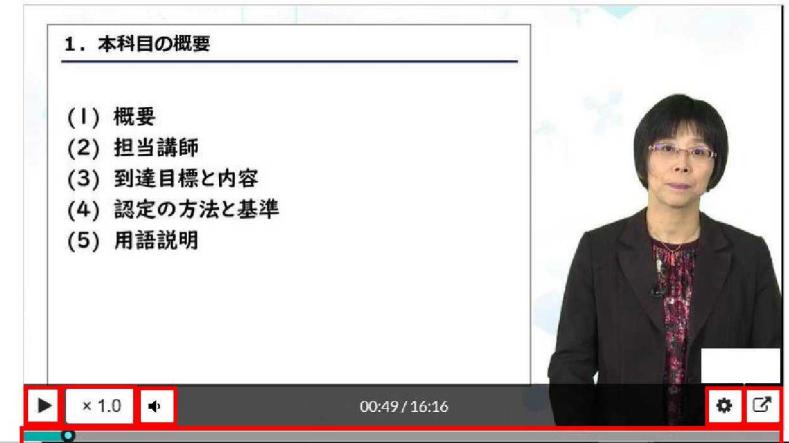
以下の[Download]ボタンをクリックすると、講義資料をダウンロードできます。学習の際に、必要に応じて閲覧・出力するなどしてご活用ください。

 Download ダウンロード

本資料は、看護教員養成講習会eラーニングの学習用として作成されたものです。それ以外の目的・用途に使用したり、第三者に配布することは禁止します。

1. 本科目の概要

(1) 概要
(2) 担当講師
(3) 到達目標と内容
(4) 認定の方法と基準
(5) 用語説明



●映像形式

フォーマット種類 : MP4

サイズ 960 x 540

(16:9)

映像コーデック : H.264

音声コーデック : AAC

ビットレート : 1Mbps 程

	名称	機能
①	ダウンロードボタン	・講義資料等のダウンロードを行うことができる。
②	再生／停止ボタン	・再生ボタンをクリックすると、講義映像が再生され、もう一度クリックすると講義映像が停止する。
③	再生速度ボタン	・講義映像の再生速度を 1.0（通常）、1.2 倍速、1.5 倍速、2.0 倍速に切り替えられる。
④	音量調節ボタン	・講義映像の音量を調節できる。
⑤	シークバー	・バーをマウスで動かすことで早送り、巻き戻しができる。
⑥	画質設定ボタン	・講義映像の画質を高・中・低の中から選択できる。
⑦	全画面表示ボタン	・講義映像をポップアウトで全画面表示させることができる。

● プレテスト

※ 設問イメージ

看護教育評価論
プレテスト

学習をはじめる前に「プレテスト」に取り組んで、現段階での自分の理解度を確認しましょう。

Q1 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
教育評価とは、学習者（児童・生徒・学生）の能力を判定し、成績付けをする読みである。
＊○ ○×

Q2 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
看護師の実践力を評価するには、筆記テストだけでなく、パフォーマンス評価を活用することが求められる。
＊○ ○×

解説完了 やり直し

- ・e ラーニングの各コンテンツを受講する前に受験するテスト
- ・システムによるランダム出題
- ・正誤、択一選択、複数選択の解答形式
- ・解答完了ボタンをクリックすると自動採点され、同時に点数結果がデータベースに書き込まれる
- ・受験可能回数は1回
- ・プレテストの解答完了を送信すると、以降の動画 コンテンツや確認テストを受講できるようになる

※ 解答・解説表示

次のページに進み、学習を始めましょう。

問題	正解
Q1	×
Q2	○
正解率	50% (1/2)

Q1 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
教育評価とは、学習者（児童・生徒・学生）の能力を判定し、成績付けをする読みである。
不正確 ＊○ ○×

正解は ×。
教育評価は、第一義的には、学習者の学力を評価することによって、教育を評価する読みです。教育評価は、教育を改善するために行います。本科目では、教育評価の基本的な考え方について確認していきます。

Q2 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
看護師の実践力を評価するには、筆記テストだけでなく、パフォーマンス評価を活用することが求められる。
正確 ○○ ○×

正解は ○。
看護教育において実践力を育成するためには、知識・技能を使いこなす力を発揮することを求めるようなパフォーマンス評価を用いることが重要です。本科目では、パフォーマンス評価の考え方や進め方について詳しく検討していく旨です。

- ・設問番号は各解答へリンク
- ・採点結果と正解率が表示される
- ・解答と解説が同時に表示される

● 確認テスト

※ 設問イメージ

看護教育評価論
1. 教育評価とは何か
1-1 確認テスト

動画で学習したこと思い出しながら、次の問いに答えましょう。確認テストは何度も解答できます。間違った場合は、動画を再度見直して、再度解答してください。

Q1 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
教育評価を学ぶことによって、教育目標や教育実践の改善につなげることができる。
＊○ ○×

Q2 次の文について、正しければ○、誤っていれば×を選びなさい。
指導書類とは、文部科学省が定める教育課程の基準であり、教科書選定の基準ともなる。
＊○ ○×

解説完了 やり直し

- ・動画視聴後に受験するテスト
- ・システムによるランダム出題
- ・正誤、択一選択、複数選択の解答形式
- ・解答完了ボタンをクリックすると自動採点され、同時に点数結果がデータベースに書き込まれる
- ・繰り返しテストが可能

※解答・解説表示

The screenshot shows a software interface for 'Nursing Education Evaluation'. At the top, there's a summary table:

問題	正解
Q1	○
Q2	✗
正解率	50% (1/2)

Below the table, Question Q1 is displayed with its explanation and answer status:

Q1 次の文について、正しければ○、誤っていれば✗を選びなさい。
教育評価を学ぶことによって、教育目標や教育実践の改善につなげることができる。
正解は ○。
教育評価は、教育目標や教育実践の無い探しにもつながる営みです。

Question Q2 is also shown with its explanation and answer status:

Q2 次の文について、正しければ○、誤っていれば✗を選びなさい。
指導要録とは、文部科学省が定める教育評価の基準であり、教科書検定の基準ともなる。
不正解 ✗ ○ ✗
正解は ✗。
文部科学省の定める教育課程の基準は、学習指導要録です。指導要録とは、「児童生徒の学習並びに指導の過程及び結果の要約を記録し、その後の指導及び外部に対する証明等に役立たせるための帳簿」(文部科学省通知、2010年)です。

・設問番号は各解答へリンク

・採点結果と正解率が表示される

・解答と解説が同時に表示される

●単位認定テスト

※設問ページ

The screenshot shows a software interface for 'Unit Certification Test'. At the top, there's a message about the test:

看護教育評価論の単位認定テストです。
6問（60%）以上正解すると合格です。合格しないと単位認定されません。
合格点に達するまで何度でも受験できます。

Below the message, three questions are listed:

Q1 次の説明に対応する用語は、何でしょうか。該当するものを選びなさい。
A1 集団の中の位置を示す評価
①A. 絶対評価
②B. ゴールフリー評価
③C. 自然に表現した評価
④D. 相対評価
⑤E. 個人内評価

Q2 学習の進展において、学習者の学習や教師の授業方法、あるいはカリキュラムなど、教育過程において行われている活動の改善のために行われる評価
A2 教育的評価
①A. 形成的評価
②B. 総括的評価
③C. 学習としての評価
④D. 学習の評価

Q3 「ある評価の方法がどの程度当初意図した内容の評価にになっているか」「評価したいものを本当に評価しているか」を見る観点
A3 平等性
①A. 平等性
②B. 信頼性
③C.妥当性
④D. 實行可能性

・すべての動画視聴と確認テスト解答後に受験するテスト

・システムによるランダム出題

・正誤、択一選択、複数選択の解答形式

・解答完了ボタンをクリックすると自動採点され、同時に点数結果がデータベースに書き込まれる

・正解率 60%で合格

満たない場合は再受験を合格するまで繰返し受験することが可能

※解答・解説表示

● 看護教育評価論

単位認定テスト

看護教育評価論の単位認定テストには合格しています。

問題	正誤	問題	正誤	問題	正誤	問題	正誤
Q1	×	Q11	*	Q21	未選択	Q31	未選択
Q2	×	Q12	○	Q22	未選択	Q32	未選択
Q3	×	Q13	未選択	Q23	未選択	Q33	未選択
Q4	×	Q14	未選択	Q24	未選択	Q34	未選択
Q5	×	Q15	未選択	Q25	未選択	Q35	未選択
Q6	*	Q16	未選択	Q26	未選択	Q36	未選択
Q7	×	Q17	未選択	Q27	未選択	Q37	未選択
Q8	○	Q18	未選択	Q28	未選択	Q38	未選択
Q9	*	Q19	未選択	Q29	未選択	Q39	未選択
Q10	未選択	Q20	未選択	Q30	未選択	Q40	未選択
						正解率	5% (2/40)

次の設問に対応する用語は、何でしょうか。該当するものを選びなさい。

Q1 集団の中の位置を示す評価

不正確 A. 総対評価

B. ゴールフリー評価

C. 個人に適した評価

D. **相対評価**

E. 個人内評価

正解はD。

集団の中の位置を示す評価を、相対評価と書きます。

レッスン参照：[\[2-1\] 管理評価に関する政策の実施—統合評価、総対評価、相対評価、個人内評価、「目標に達成した状況」](#)

- ・不合格の場合は再テストボタンが上部に表示され、合格するまで再受験が可能
 - ・設問番号は各解答へリンク
 - ・採点結果と正解率が表示される
 - ・解答と解説が同時に表示される
 - ・関連する学習コンテンツへのリンクが表示される
 - ・すべての動画の視聴、すべての確認テストへの解答、単位認定テストの合格を以て修了となる

●コースレビュー(アンケート)

※設問ページ

Q1	『ラーニングの実習』が実施された年ですか？
	<input type="radio"/> A. 10年～19年 <input type="radio"/> B. 0年～15年 <input type="radio"/> C. 5年～20年 <input type="radio"/> D. 10年目以上
Q2	今回の実習は以下のどのスタイルで実施されましたか？
	<input type="radio"/> A. 教科別（教科毎に単行して実施） <input type="radio"/> B. 新規モード（実習場所に利用した） <input type="radio"/> C. 自定モード（選択した） <input type="radio"/> D. （実施されない）

- ・択一回答、複数回答、自由記述でのコースレビュー(アンケート)に任意で回答が可能
 - ・回答した内容は受講管理システムで抽出できる